

こしわ 越王だより



<http://www.makikita.city-niigata.ed.>

令和3年7月5日 No. 5



かっこいい大人になろう

「子どもを育てるのが難しい時代になった」

最近よく耳にする声です。非行の低年齢化、子どもたちの様々な問題行動もたびたび報道されます。そんな時こそ、学校と家庭、地域が手を取り合い、方法は違って同じ方向にベクトルをそろえて子どもたちを育てていくことが大切になってきます。

巻北小学校は、それができている学校です。大きな問題や事故がなく、一人ひとりの子どもたちがのびのびと健やかに成長できているのは、家庭や地域の皆様の多大なご支援、ご協力があればこそです。大変ありがたいことです。

先日、次のような文を目にしました。

よい子どもに育てたいなら、よい親になりなさい。

親の背中で子は育つのである。親がしっかりしていれば、子はしっかりとした人間に育つ。

親が空を見て美しいと思うならば、子どもも空に美しさがあることに気付くはずである。親は、人間としての先輩なのだから、子どもにとって参考になる行いをすればよいのである。

「親」を「教師」に置き換えると、学校教育になります。

学校でも、家庭でも「よい子に育てたい」「よい子に育てるにはどうしたらよいのだろう」とみんな頭を悩ませています。まず教師や親が「よい教師」「よい親」になること、人間・人生の先輩として、子どもたちに「お手本・参考になる行い」をすることが大切だと感じます。

「そんなことは、頭ではよく分かっているけれど、できないときもある」という方もいらっしゃるでしょう。私もそうです。時折、自分を振り返り、少しでも善くなろうと努力する、成長しようと学び続ける、失敗しても諦めずに前向きに挑戦し続ける…そんな親や教師のかっこいい後ろ姿を見て、よい子どもが育っていくのだと思います。

これからも、学校と家庭、地域が手を取り合い、共に巻北の子どもをさらにより子どもたちに育てていきましょう。

6年生 佐渡体験教室に行ってきました

6月23日(水)～24日(木)

佐渡で太鼓をたたいて、一番心に残ったのは太鼓の音です。一人でたたくと耳にちょうどよい音ですが、十人くらいでたたくと心にグッとくる音になりました。ですが、それでもプロの方一人の音にはかないませんでした。簡単そうに見えて難しい太鼓。プロの方は本当にすごいとあらためて感じた体験でした。



佐渡金山の宗太夫坑に行きました。そこは地下深く、中は暗くて気温が低かったです。水を流す道具や鉱山を掘る道具を使っていました。今の時代のような、指一本で動く機械はありませんでした。外側は、緑のきれいな素敵な山だと思いましたが、内側では、終わりの見えない大変な仕事が行われたと知り、驚きました。



ぼくがトキの森公園で学んだことは2つあります。1つ目はトキの種類です。1種類だけではなく、世界に約25種類ものトキがいるそうです。2つ目は、トキの顔の色です。生まれたてのトキの顔は黄色で、2歳から赤くなるそうです。佐渡では新しい学びをすることができました。これからも自然を大事にしていきたいです。



ぼくの思い出は、相川技能伝承館でのろくろ体験です。初めての経験でした。無名異という土とろくろを使い、手で触って形を作ります。ぼくはコップを作りました。自由に形を作ることができてとても楽しかったです。もう一つは、尖閣湾揚島です。上から見る海はとてもきれいでした。また佐渡へ行きたいです。

西三川ゴールドパークで砂金とりをしました。水の中の砂の中にある高価な砂金を探すことはとても楽しかったです。水はとても冷たく、砂を落として砂金を探す動作が難しかったです。砂金を見つけた時はうれしかったです。とった砂金はケースに入れて家の棚に置きました。また佐渡に行きたいです。



佐渡体験教室で心に残ったものが2つあります。1つ目が、イカの一夜干しです。私は、普段あまり料理をしないので、とても良い思い出になりました。家でも作ってみたいです。2つ目は、たらい舟です。たらい舟をこぐのはとても難しかったです。海の中が見えるようになっていて、とても楽しかったです。